

ムーディーズによる日本の政府債務格付けの引き下げ

2014年12月2日

<格下げについて>

2014年12月1日、格付会社のムーディーズ・インベスターズ・サービス(以下、ムーディーズ)は、日本の政府債務格付けを「Aa3(最上位から4番目)」から「A1(同5番目)」に1ノッチ(段階)引き下げました。また、格付けの見通しは「安定的」とされています。

同社の発表資料によると、上記の格下げの理由として、

1. 財政赤字削減目標の達成可能性に関する不確実性の高まり
2. デフレ圧力の下での成長促進策のタイミングと有効性に関する不確実性
3. それに伴う中期的な日本国債の利回り上昇リスクの高まりと債務負担能力の低下

の3点を挙げています。加えて、同社はA1という格付水準について、規模が大きく多様な経済、強固な対外支払いポジション、非常に強い制度の頑健性、非常に強固な国内資金調達基盤を含む、極めて高い政府の信用力を反映しているとしています。

各格付会社の日本長期債務格付け

(2014年12月1日時点)

| | 自国通貨建て | 外貨建て | 見通し |
|--------|--------|------|-------|
| JCR | AAA | AAA | 安定的 |
| R&I | AA+ | AA+ | 安定的 |
| S&P | AA- | AA- | ネガティブ |
| ムーディーズ | A1 | A1 | 安定的 |
| フィッチ | A+ | A+ | ネガティブ |

(出所)各種データを基に大和投資信託作成

<今後の見通し>

今回の格下げは12月1日、日本時間の夕刻に発表されたため、債券市場はイブニング・セッションの時間帯で商いが薄く、長期金利は小幅に上昇したのみの影響にとどまりました。一方、為替市場では円が対米ドルで買われ、円高が進行しました。さらに、翌2日の債券市場においても長期金利が小幅に上昇する場面がありましたが、午後にかけては低下に転じ、午後3時時点では格下げ前とほぼ同水準に戻っています。

今後につきましても、ムーディーズ自身が指摘しているように、日銀の量的・質的金融緩和による大量の国債買い入れを中心とした国内投資家による強固な資金循環構造が、日本国債の需要を支える可能性が高いことから、今回の格下げがわが国の債券市場に与える影響は非常に限定的とみています。

以上

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>